

## 第6学年\*組 道徳科学習指導案

指導者 鈴木 理菜  
R4 研修センター長期研修

1 主題名 「法やきまりを守って」【C-(12) 規則の尊重】

2 教材名 「ここを走れば」(光村図書「道徳6 きみがいちばんひかるとき」)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、「小学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編」の内容「C 主として集団や社会との関わりに関すること(12)規則の尊重」の「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。」をねらいとしている。

高学年の段階では、学校のきまり、交通ルールなど、身近な規則はみんなで協力して守っていかなければならないということを理解している。しかし、国が定める法という段階になると、まだ意識は薄い。

本時では、遵法の精神をもてるよう、法やきまりは、人々が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあることを理解し、自他の権利を尊重するとともに、義務を果たすことの大切さについて考え、進んで守ろうとする道徳的心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

実態調査(実施日 令和4年\*月\*日 \*人)

1 自分たちの身の回りにはどのような法やきまりがありますか。(複数回答可)			
・交通安全に関する法	*人	・学校のきまり	*人
・教育を受ける権利	*人	・飲酒に関する法	*人
・公共施設に関する法	*人	・日本国憲法	*人
		・いじめに関する法	*人
2 あなたならばどうしますか。			
(事例) 間違っ隣席のAさんの漢字ドリルを持って帰ってしまいました。宿題になっている漢字ドリル。早く返さなければAさんは習い事に行ってしまいます。自転車でAさんの家まで届けに行きますが、赤信号になってしまいました。			
・青信号になるまで待つ。	*人		
(理由) 自分の身を守るため。法は守るもの。			
・少し迷うが、左右を確認して赤信号を渡る。	*人		
(理由) 急いでいるから仕方ない。Aさんを困らせてはいけない。車がないならばいい。			
・迷わず、左右を確認して赤信号を渡る。	*人		
(理由) 誰も見ていないならばいい。			

実態調査の結果から、児童にとって身近な法やきまりは、交通安全に関する法であることが分かる。また、2の結果から、\*人の児童が法やきまりは守るものだという意識をもっている。しかし、やむを得ない場合は、法やきまりを破ることもあると回答した児童もいることが分かった。法やきまりを破るという回答の中でも、特に、自分と他者の関係性の中で、相手を思う気持ちが優先されると、判断に迷うようである。

(3) 教材について

本教材は、危篤の祖父の元へ向かう時でさえ交通ルールを守る父親と、それを見つめる主人公の姿から、法やきまりの意義について考え、それらを進んで守ろうとする心情を育てることができる。そして、この教材を通して、祖父を思う気持ちと法の遵守で葛藤する父の思いを考えることで、法やきまりの意義の理解をする。その上で、自他の権利を大切にし、法やきまりを守る義務を果たすことについて考えていく。

4 指導観

(1) 目指す児童の姿

本時の学習では、祖父を思う気持ちと法の遵守の間で葛藤する父やそれを見ている「ぼく」の思いに対して多様な考えを引き出し、法を遵守するかどうかを自分の都合で決めると、他者に迷惑がかか

ることがあることに気付かせたい。そして、法の遵守を選んだ父の考えに着目し、自他の権利を守るために、法を守る義務を果たすことの大切さを理解し、法やきまりを進んで守ろうとする道徳的心情を育てたい。

(2) ねらいに迫るための手立て

- ① 自分の考えをしっかりともてるように、展開前段でお話カード（範例的活用、批判的活用、共感的活用）の中から1つ選び、教材に対する自分の考えを書く。
- ② 教材に示された道徳的価値を自分のこととして考えられるように、展開前段でお話カードに自分の経験を反映させていく。
- ③ 道徳的価値を実現することの難しさを自分のこととして捉えるために、展開後段で事前アンケートの結果を提示し、自己を見つめる。
- ④ 考えの変容を可視化できるように、学習過程全体を通して、心のものさしを活用する。

4 本時の指導

(1) ねらい

危篤の祖父の元へ向かう時でさえ交通規則を守る父親と、それを見つめる主人公の姿を通して、法やきまりの意義を理解した上で、それらを進んで守ろうとする道徳的心情を育てる。

(2) 準備・資料

写真、場面絵、お話カード、心のものさし、タブレット端末、電子黒板、事前アンケートの結果

(3) 展開

	学習活動及び発問 ※は心のものさしの活用	予想される児童の反応	指導の手立てと評価
導入 5分	1 写真を確認し、法やきまりについて問題意識をもち、本時の学習を確認する。※ ○ この写真が伝える問題点とはどんなことだろう。  法やきまりを守ることは、どうして大切なのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の迷惑を考えずに騒ぐ。</li> <li>・警察を困らせている。</li> <li>・赤信号なのに守っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法やきまりを守る大切さについて自分との関わりで考えられるように、社会的な問題を提示して問題意識を高める。</li> <li>・本時の学習の見通しがもてるように、課題を提示してねらいとする価値への方向付けを行う。</li> <li>・心のものさしを活用し、学習過程全体を通して、自分の考えの変容が分かるようにする。</li> </ul>
展開 35分	2 教材「ここを走れば」の範読を聞き、法やきまりを守ることについて考える。 (1) 教材に対する自分の考えを3つのお話カードから1つ選び、書く。 【お話カード】 ① 範例的活用(桃色) ○ 法やきまりについて考えよう。 ② 批判的活用(青色) ○ 「ぼく」の本音を考えよう。 ③ 共感的活用(黄色) ○ 自分が「ぼく」だったら、お父さんに何と言う。  ○ 手を合わせながらお父さんは、自分の判断についてどう思っただろう。  (2) 自分の生活の中でも、似たような経験がないかを考え、お話カードに記入する。※	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 法やきまりを守らなければ、人々は安心して生活を送ることができないから、お父さんの判断は正しい。</li> <li>② おじいちゃんの命がかかっているのだから、路側帯を通ったっていいじゃないかな。</li> <li>③ もし、自分がお父さんだったらおじいちゃんに早く会いたい気持ちを優先にして、路側帯を通っていたかもしれない。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱり祖父が生きているうちに会いたかった。</li> <li>・自分の都合で法を守らなくていいわけではないから後悔はしていない。</li> <li>・危険だと分かっているけど、登校班からはみ出してしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の内容や登場人物に親しみをもてるように場面絵を提示する。</li> <li>・ねらいとする道徳的価値に対し、児童が自分の考えをしっかりともてるようにするために、お話カードから1つ選ぶよう指示をする。</li> <li>・「ぼく」の視点と父親の視点で教材を捉えることで、自分が最優先となると法やきまりを守ることへの判断を鈍らせることもあると気付けるようにする。</li> <li>・児童の考えを可視化できるように板書を工夫する。</li> <li>・「もし父が路側帯を走っていたらどうなるか。」と問い返すことで、法を尊重しなかった場合についての考えをもち法を尊重することの難しさとその大切さに気付くことができるようにする。</li> <li>・教材に示された道徳的価値を自分のこととして考えられるように、お話カードの罫線に自分の経験を反映させて書くよう助言する。</li> </ul>

	<p>3 事前アンケートの結果を見て自分自身を振り返り、法やきまりを守ることのよさや難しさについてグループで話し合う。※</p> <p>◎ 法やきまりを守ることはどうして大切なのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分勝手な思いで法やきまりを守れないと、誰かに迷惑がかかるかもしれない。</li> <li>・みんなで法やきまりを守っていかなければ、いけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートの結果から、現実には法やきまりを守れない場面もあるがそれではいけないということを考えられるようにする。そして、法やきまりを守ることのよさに気付くことができるようにする。</li> <li>・「一人ぐらい守らなくてもいいのではないか。」といった問い返しを通して法の遵守の大切さに気付けるようにする。</li> </ul>
<p>終末5分</p>	<p>4 今日の学習で考えたことをとめる。</p> <p>(1) 本時を振り返り、道徳ノートに記入する。</p> <p>○ 法やきまりに対してこれからどのように接していけばよいだろう。</p> <p>(2) 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法やきまりを破ったら、誰かの迷惑になるかもしれないから、自分を優先にせず、法やきまりを守っていきたい。</li> <li>・みんなが法やきまりを破ったら、安心して暮らせないから、みんなで守っていききたい。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>法やきまりの意義を理解した上で、進んで守ろうとしている。</p> <p>(お話カード、心のものさし、道徳ノート、発言)</p> </div>